

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年2月7日(2023.2.7)

【公開番号】特開2021-78911(P2021-78911A)

【公開日】令和3年5月27日(2021.5.27)

【年通号数】公開・登録公報2021-024

【出願番号】特願2019-210224(P2019-210224)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

A 63 F 7/02 316 A

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月30日(2023.1.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

特定表示結果は、第1特定表示結果と、第1特定表示結果と異なる第2特定表示結果とを含み、

音出力手段と、

表示手段と、

発光手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

30

遊技媒体が進入容易な第1状態と、遊技媒体が進入不能または進入困難な第2状態に制御可能な可変手段と、

を備え、

前記可変手段は、前記第1特定表示結果が導出表示されるときと、前記第2特定表示結果が導出表示されるときと、で異なる制御パターンにより前記第1状態に制御可能であり、

前記演出実行手段は、前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出を実行可能であり、

前記表示手段は、第1表示領域と、該第1表示領域よりも周縁寄りの第2表示領域とを含み、

前記特定演出は、

前記表示手段が演出動画を表示し、前記音出力手段が演出音を出し、前記発光手段が発光する演出であり、

第1期間と、該第1期間後の第2期間と、該第2期間後の期間であって、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第3期間と、を含み、

前記演出実行手段は、

前記第1表示領域において、前記演出動画を表示可能であり、

前記第2表示領域において、遊技に関する情報表示を表示可能であり、

前記第1期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

40

50

前記第2期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第3期間において、

演出結果として有利態様を報知する場合、前記第2期間において前記第2表示領域に表示していた前記情報表示を表示せずに、前記第1表示領域と前記第2表示領域とを用いて該有利態様の演出結果を報知可能であり、

演出結果として不利態様を報知する場合、前記第2期間において前記第2表示領域に表示していた前記情報表示を表示した状態で、前記第1表示領域を用いて該不利態様の演出結果を報知可能であり、

10

前記第1期間と前記第2期間とのいずれにおいても、前記発光手段の発光態様を変化させることができるとともに、前記第2期間において、前記第1期間よりも短い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることができある、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

しかし、従来の遊技機では、さらなる改善の余地があつた。

20

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であつて、

特定表示結果は、第1特定表示結果と、第1特定表示結果と異なる第2特定表示結果と、を含み、

30

音出力手段と、

表示手段と、

発光手段と、

演出を実行可能な演出実行手段と、

遊技媒体が進入容易な第1状態と、遊技媒体が進入不能または進入困難な第2状態に制御可能な可変手段と、

を備え、

前記可変手段は、前記第1特定表示結果が導出表示されるときと、前記第2特定表示結果が導出表示されるときと、で異なる制御パターンにより前記第1状態に制御可能であり

40

前記演出実行手段は、前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出を実行可能であり、

前記表示手段は、第1表示領域と、該第1表示領域よりも周縁寄りの第2表示領域と、を含み、

前記特定演出は、

前記表示手段が演出動画を表示し、前記音出力手段が演出音を出力し、前記発光手段が発光する演出であり、

第1期間と、該第1期間後の第2期間と、該第2期間後の期間であつて、演出結果として有利態様または不利態様のいずれか一方の態様を報知する第3期間と、を含み、

前記演出実行手段は、

50

前記第1表示領域において、前記演出動画を表示可能であり、
前記第2表示領域において、遊技に関する情報表示を表示可能であり、
前記第1期間において、前記第1表示領域に第1速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、
前記第2期間において、前記第1表示領域に第1速度よりも遅い第2速度で進行する演出態様の前記演出動画を表示しつつ、前記情報表示を前記第2表示領域に表示可能であり、

前記第3期間において、

演出結果として有利態様を報知する場合、前記第2期間において前記第2表示領域に表示していた前記情報表示を表示せずに、前記第1表示領域と前記第2表示領域とを用いて該有利態様の演出結果を報知可能であり、

10

演出結果として不利態様を報知する場合、前記第2期間において前記第2表示領域に表示していた前記情報表示を表示した状態で、前記第1表示領域を用いて該不利態様の演出結果を報知可能であり、

前記第1期間と前記第2期間とのいずれにおいても、前記発光手段の発光態様を変化させることができるとともに、前記第2期間において、前記第1期間よりも短い間隔で前記発光手段の発光態様を変化させることができる。

他の態様による遊技機は、

特定表示結果（例えば、大当たり図柄）が導出表示されたことにもとづいて有利な有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機であって、

20

通常状態よりも可変表示が実行されやすい特別状態（例えば、時短状態）に制御可能な状態制御手段（例えば、図8-17に示すように、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップ090IWS462、ステップ090IWS468を実行する部分）と、

特別領域（例えば、V入賞口）を有し、遊技媒体が進入容易な第1状態（例えば、開状態）と、遊技媒体が進入不能または進入困難な第2状態（例えば、閉状態）に制御可能な可変手段（例えば、特殊可変入賞球装置090IW17）と、

前記可変手段を制御する可変制御手段（例えば、図8-6に示す部分）と、

演出を実行可能な演出実行手段（例えば、図7に示すように、演出制御用CPU120におけるステップS76を実行する部分）と、を備え、

30

前記特定表示結果と異なる特殊表示結果（例えば、小当たり図柄）が表示されたときに前記可変手段を前記第1状態に制御可能であり（例えば、図8-5に示すように、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS118を実行する部分）、

前記特殊表示結果は、第1特殊表示結果（例えば、小当たりAまたは小当たりBとなる表示結果）と、前記第1特殊表示結果とは異なる第2特殊表示結果（例えば、小当たりCとなる表示結果）と、を含み、

前記状態制御手段は、

前記通常状態において、前記第1特殊表示結果（例えば、小当たりAまたは小当たりBとなる表示結果）が導出表示されたときに遊技媒体が前記特別領域を通過しなかった場合に前記特別状態に制御し（例えば、図8-18に示すように、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップ090IWS461aでYときにステップ090IWS462、ステップ090IWS467aでYのときにステップ090IWS468の処理を実行する部分）、

40

前記通常状態において、前記第2特殊表示結果（例えば、小当たりCとなる表示結果）が導出表示されたときに遊技媒体が前記特別領域を通過しなかった場合に前記特別状態に制御せず（例えば、図8-18に示すように、遊技制御用マイクロコンピュータ100におけるステップ090IWS467でNのときに、ステップ090IWS461aおよびステップ090IWS462やステップ090IWS467aおよびステップ090IWS468の処理を実行しない部分）、

前記第1特殊表示結果が導出表示されたときと、前記第2特殊表示結果が導出表示され

50

たときと、で遊技媒体の前記特別領域の通過しやすさが異なり（例えば、図8-6に示す部分）、

前記可変制御手段は、前記第1特殊表示結果が導出表示されるときと、前記第2特殊表示結果が導出表示されるときと、で異なる制御パターンにより前記可変手段を前記第1状態に制御可能である（例えば、図8-6に示す部分）。

そのような構成によれば、特殊表示結果が導出表示されるときに特別状態に制御せらるか否か好適に演出を実行できる。

10

20

30

40

50